

平等ニ同條義ノ制限ノミヲ以テ一人名以上ト決  
定シ其ノ内容ハ他國の產業的其他一實質的條件ニ  
テ無視スル理由如何  
第二 政府ノ所請勞働國体ト意義スルニ當リ單ニ  
條約中ニ勞働條件ニ關スル事項ヲ包含スト觀テ  
シタルモノト爲シ其ノ構成要素實質ノ如何ヲ問ハ  
ズ形式約ニ依テシタル理由如何  
第三 選舉方法發表後四十五日間即チ三月二十五  
日迄ヲ國体原由有効期間トシ以テ其ノ間種々不  
純ナル動機目的ヲ有スル勞働國体ノ急造濫造  
ノ機會ヲ與ヘ之レニ多年ニ亙リテ社會的ニ認メラ  
レタル既設勞働國体ト同一權利ヲ附與セル理由如何

何

第四 顧問ヲ設ケル理由ハ恐ラク代表ノ任務遂行  
ヲ補助セシムルニアルベシ然ラバ之レ妥當トスベ  
クニ下ラザルカ、然ルニ之ヲ代表同僚勞働國体ノ公  
認トシタル理由如何  
第五 第三回國際勞働總會ニ於テハ小作人元賃金  
勞働者ト同一ニ看做スベシトテト認定セラレ  
タルニ拘ラズ今回ノ勞働代表選定ニ當リテ日本農  
民組合ヲ除外シタル理由如何  
第六 勞働代表ガ完全ニ其ノ任務ヲ果シントスル  
ニ至前ニ了リテ其ノ準備ノ爲メ相當ノ時日ヲ要ス  
ルニ下ラザルカ、然ルニ今回ハ決定後尙日幾許ニテ